

2023 年度 事業計画書

2023 年度方針

当財団の目的である男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する事業の円滑なる進展を図るため、国内外の動向を踏まえた最新の情報提供に努めるとともに、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行する。

昨年度に引き続き、キャリア人財プラットフォームの資源となる人々の経験や知を核に、今後の女性のキャリア形成支援の充実に資するよう進めていく。また、財団のフロアを生かした対話の場を生み出し、男女共同参画社会の実現に向けて財団の目的を推進していく。

I. 「公益目的事業」 <生涯学習の振興および活性化支援事業>

1. 研究調査

(1) 防災・減災に関する研究調査

男女共同参画と災害・復興ネットワーク（代表：堂本暁子）と協働で事業を行うと共に、ホームページ上で防災・減災とジェンダーに関する情報を発信する。

(2) 女性の教育・学習活動史研究

「出発・再出発」をテーマとした「日本女性学習財団 未来大賞」レポート募集を行う。

(3) 男女共同参画の視点に立つ女性のキャリア形成支援者に関する研究

女性のエンパワーメントに向けて男女共同参画の視点から支援する「キャリア支援デザイナー」が 2022 年度で 10 期を迎えた。本研究では、これまでの当財団や各地におけるキャリア支援者向けプログラム等を収集・分析、またキャリア支援デザイナー自身の経験や課題等を基礎資料をもとに分析し、地域における男女共同参画の推進にも資するキャリア形成支援者向けプログラムを検討していく。

2023 年度は、3 年計画の 2 年目として、キャリア支援デザイナーへのアンケート調査や専門家へのヒアリングを行う。また、女性のキャリア形成支援等にかかわるプログラムを収集し分析する。

2. 人財育成

(1) キャリア人財プラットフォーム事業

女性のエンパワーメントをめざし、生涯にわたるキャリアデザインを男女共同参画の視点で支援する「キャリア支援デザイナー」を養成するための講座を開催する

ほか、女性の生涯にわたるキャリア形成のための人と社会をつなぐ場である「キャリア人財プラットフォーム」の資源を生かし、学び合う場を創出していく。

(2) 子育て支援者育成・次世代育成講座

子育て支援、次世代育成に携わる人を対象に、ジェンダー視点を基軸に据えた講座を開催する。

3. 情報提供

(1) 月刊『We learn』発行

本誌は、男女共同参画の普及啓発のための専門誌として、ジェンダーの視点からの現代的課題を取り上げ、研究及び実践活動に関する情報を収集・提供している情報誌である。昨年度までに引き続き、ジェンダー平等や女性のエンパワーメントに向けた情報提供に努めるほか、キャリア支援デザイナーをはじめ他事業と関連した情報発信を進める。

(2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

イラストを通して男女共同参画にまつわるさまざまな問題を提示する「なるほどジェンダー」パネル、「発見！ジェンダー」パネルを貸出する。また、「発見！ジェンダー」のデータ販売など、男女共同参画を身近に学べる教材として使用できるような普及活動にも取り組む。

(3) 資料の整備・情報公開

①ホームページの充実

当財団の事業については、適宜、事業案内・報告を財団ホームページに掲載し、その内容を公開する。また、フェイスブックやインスタグラム等のSNSを用いて、タイムリーな情報提供に努める。

②Space We learn の活用

フロアやライブラリーを活用した「ぶっく・とーく」や「芝公園ラボ」（仮・新規、財団の資源を活用して学び合える場をイメージ）の開催等、本や人を資源とした対話・学び合いの場を創出する。

4. 関係諸団体との連携支援

(1) 日本女子会館内外団体との連携

（特非）全国女性会館協議会、Office We learn 登録団体など女子会館内団体との情報交換を行い、国際婦人年連絡会、（特非）全国女性会館協議会、社会教育団体振興協議会等に参加して、全国的・国際的な活動に参加・参画するとともに、全国各

地からの要望に応じて連携・支援を行う。

また、生涯学習活動等、当財団と活動目的を共有する非営利法人に対して、継続して日本女子会館施設を低料金で提供することにより、当該法人の活動を支援する。

(2) 女性関連団体へのカンファレンスルーム「Space We learn」の提供

女性支援・生涯学習を目的とする法人や団体、財団のキャリア人財プラットフォームに関わる女性関連団体等に対して、「Space We learn」を周辺相場より安価で提供し、当該団体等の活動支援を図る。

(3) シェアオフィス・バーチャルオフィス「Office We learn」の運営

女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィス事業を引き続き推進する。リニューアルしたフロアも生かし、女性たちのネットワークづくりに寄与することができる場としての機能を高めていく。

女性起業家や女性研究者に活動拠点を提供すると共に、「人財プラットフォーム」事業との融合を図り、会員相互の交流、情報交換の場としての機能を兼ね備えることで、スキルアップにも寄与することを目指す。

2023 年度も引き続き、会員を増やすための広報を実施するとともに、会員を巻き込めるような施策を推進していく。

II. 「収益事業」＜日本女子会館建物の賃貸事業＞

1. テナント入退去の状況

2022 年度中 3 室空室の状態が続いていたが、2023 年 2 月 1 日以降全館満室となった。

現時点でテナントからの退去予告はないが、引き続きテナントとのコミュニケーションをとりながら、テナントの動向及び日本女子会館管理運営上の改善課題等に関する情報収集を進めていく。

III. 日本女子会館の維持経営

1. 日本女子会館建物の維持管理

2022 年 5 月に第 3 期改修工事が竣工し、2020 年から進めてきた大規模改修工事が当初計画どおり行われた。これにより、足元で至急対応が必要であった外壁塗装、屋上防水、トイレ・給湯室のリノベーション、給排水設備の更新が完了した。今後も順次長期修繕計画に基づいて進めていく。

その他、個別に耐用年数に基づく各所の改修・更新等についてはこれまでどおり着実に進めていく。